

教育職員免許法に関する 説明及び科目認定一覧表

令和8年度生用



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

目 次

I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科	1
1. 一種免許状	1
2. 専修免許状（参考）	2
II. 免許状取得の方法	3
1. 基礎資格および最低修得単位数	3
2. 教科・教職以外の科目	4
3. 教育の基礎的理解に関する科目等	5
4. 幼稚園・小学校教諭一種免許状	6
(1) 【幼稚園】領域及び保育内容の指導法に関する科目	6
(2) 【小学校】教科及び教科の指導法に関する科目	7
(3) 【幼稚園・小学校】大学が独自に設定する科目	7
5. 中学校・高等学校教諭一種免許状	9
(1) 教科の指導法に関する科目	9
(2) 大学が独自に設定する科目	9
(3) 教科に関する専門的事項	10
6. 栄養教諭一種免許状	26
III. 介護等体験	27
IV. 教員免許状の授与	28
1. 大学一括申請	28
2. 個人申請	28
V. 教職課程履修スケジュール	29
*教育の基礎的理解に関する科目等チェック表	30

I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科

本学では、下記別表に記載されている学部で教員免許状が取得できるようになっており、それぞれの学科で学んだ専門科目を最も生かすことのできる免許状を取得できるようになっています。教員免許状の取得を希望する学生は、必ず所属学科の免許状を取得してください。

1. 一種免許状

学部	学 科	免 許 状 の 種 類 及 び 教 科			
		高等学校一種	中学校一種	その他の免許状の種類	
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	地理歴史・公民	社 会	※	
	言 語 文 化 学 科	国 語	国 語		
		英 語	英 語	※	
	人 間 社 会 科 学 科				
	●教育科学・子ども学コース	公 民	社 会	小 学 校 一 種	幼 稚 園 一 種
	●社 会 学 コ ー ス	公 民	社 会	※	
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	保 健 体 育	保 健 体 育	※		
	音 楽	音 楽	※		
理 学 部	数 学 科	数 学	数 学	※	
	物 理 学 科	理 科	理 科	※	
	化 学 科	理 科	理 科	※	
	生 物 学 科	理 科	理 科	※	
	情 報 科 学 科	数 学	数 学		
情 報					
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科			栄 養 教 諭 一 種	
	人 間 生 活 学 科	家 庭	家 庭	※	

★文教育学部所属で、グローバル文化学プログラムを主プログラムとして選択する学生は、教員免許状を取得できないため、注意すること。

★※のある学科等では、中学校免許状を取得したうえで小学校免許状を取得でき、中学校免許状取得に必要な科目のほかに小学校の「教科及び教科の指導法に関する科目」をpp. 7-8のとおり履修する必要がある。

2. 専修免許状（参考）

本学大学院では別表のとおり、専修免許状が取得できます。大学院で専修免許状の取得を希望する学生は、学部卒業時に一種免許状を取得しておく必要があります。

研究科	専攻	免許状の種類及び教科				
		高等学校専修	中学校専修	その他の免許状の種類		
人間文化創成科学研究科 博士前期課程	比較社会文化学専攻	国語	国語			
		英語	英語			
		地理歴史	社会			
		保健体育	保健体育			
		音楽	音楽			
		家庭	家庭			
	人間発達科学専攻	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、商船、職業指導、英語、フランス語、中国語、宗教	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、フランス語、中国語、宗教	小学校専修	幼稚園専修	
	ジェンダー社会科学専攻	地理歴史		社会		
		公民				
		家庭		家庭		
ライフサイエンス専攻	家庭		家庭			
	理科		理科			
理学専攻	理科		理科			
	数学		数学			
	情報					

II. 免許状取得の方法

1. 基礎資格および最低修得単位数

本学で教員免許状を取得するためには、下記の条件を全て満たす必要があります。

- ・卒業に必要な単位を修得して卒業する（基礎資格を得る）。
- ・下記の「教育職員免許法及び同法施行規則に定められた単位数」を修得する。
- ・本学で定められた教職・教科等の必修科目を全て修得する。
- ・P. 4「教科・教職以外の科目」を全て修得する。
- ・（小学校・中学校の教員免許状取得の場合のみ）7日間の介護等体験を行う。

教員免許状の種類	基礎資格	教育職員免許法及び同法施行規則に定められた単位数						合計単位数	介護等体験
		教科及び教科の指導法に関する科目 （幼稚園教諭） 領域及び保育内容の指導法に関する科目 （栄養教諭） 栄養に係る教育に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法（栄：内容）及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目			
教幼稚園 論園	一種	学士の学位を有すること。	16	10	4	7	14	51	不要
教小学校 論校	一種	学士の学位を有すること。	30	10	10	7	2	59	必要
教中学校 論校	一種	学士の学位を有すること。	28	10	10	7	4	59	必要
教高等学校 論校	一種	学士の学位を有すること。	24	10	8	5	12	59	不要
栄養教諭	一種	学士の学位を有すること、かつ管理栄養士の免許を受けていること又は指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。	4	8	6	4	—	22	不要

2. 教科・教職以外の科目

教育職員免許法及び同法施行規則では、教員免許状の取得には、前頁に定める教職関係の科目以外に、大学で開講されている日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション並びに数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作の単位修得が必要であると定められています。これらに該当する科目は以下のとおりです。免許状取得希望者は忘れずに履修してください。

・日本国憲法（2単位）【コア科目・基礎講義】			
〔全学部〕	「法学Ⅰ（日本国憲法）」	2単位	必修
・体育（2単位）【コア科目・スポーツ健康】			
〔全学部〕	「スポーツ健康実習」	2単位	必修
・外国語コミュニケーション（4単位）【コア科目・外国語】			
〔全学部〕いずれかの言語において4単位修得すること。			
	「中級英語Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「中級英語Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎ドイツ語Ⅲ」	} 各2単位	計4単位
	「基礎ドイツ語Ⅳ」		
	「基礎フランス語Ⅲ」	} 各2単位	計4単位
	「基礎フランス語Ⅳ」		
	「基礎中国語Ⅲ」	} 各2単位	計4単位
	「基礎中国語Ⅳ」		
※理学部情報科学科に限り、上記の他に下記科目からの選択も可とする。			
	「基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「ドイツ語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「ドイツ語初歩Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎フランス語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「基礎フランス語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「フランス語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「フランス語初歩Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎中国語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「基礎中国語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「中国語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「中国語初歩Ⅱ(1)(2)」		
・情報機器の操作（2単位）【コア科目・情報】			
〔全学部〕	「情報処理演習(1)(2)」	計2単位	必修
	「情報処理学(1)(2)」	計2単位	選択

但し、留学生特別科目の単位振替による充足は認められない。

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

教育の基礎的理解に関する科目等		免許状の種類及び認定科目・単位					
	左記各科目に含めることが必要な事項	幼稚園教諭	小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭	栄養教諭(※P26要確認)	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	幼児教育学原論(1)(2)各①	X				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(1)(2)各①					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	子ども社会学概論(1)(2)各① 幼児教育制度概論(1)(2)各①	X				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	A: 教育社会学概論(1)(2)各①および教育制度概論② B: 教育原論(社会・制度)(1)(2)各①					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	A: 教育・発達心理学概論(1)(2)各① B: 教育心理②					
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	幼児教育課程概論(1)(2)各①	X				
		A: 教育課程概論(1)(2)各① B: 教育課程論②					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	X	道徳教育の理論と方法②	X		道徳教育の理論と方法②	
		総合的な学習の時間の理論と方法①					
		特別活動の理論と方法②					
		A: 教育方法学概論(1)(2)各① B: 教育方法論①		X			
		ICT活用の理論と方法①					
		生徒指導と進路指導の理論と方法②					
		学校カウンセリング②					
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	X			A: 教育方法学概論(1)(2)各① B: 教育方法論①		
	幼児理解の理論及び方法				ICT活用の理論と方法①		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				X		
教育実践に関する科目	事前・事後指導(幼小)① 教育実習(幼小)④	X			栄養教育実習②		
	教育実習	事前・事後指導(小中)① 教育実習(小中)④		X			
		事前・事後指導(中高)① 教育実習(中高)①または②または④					
	教職実践演習	教職実践演習②					教職実践演習(栄養教諭)②

- の中の数字は単位数を示している。
- 取得希望の免許状に応じて各欄の科目をすべて履修すること。
- AとBがある欄の科目は、そのいずれかを履修すること。人間社会学科の教育科学・子ども学コース所属の学生で、ABから選ぶ場合は、原則Aを履修すること。
- 「教育方法論①」と「ICT活用の理論と方法①」は施設の都合上同一教員の開講する科目を連続して履修することを基本とする。
- 小・中学校教諭の免許状に加えて高等学校教諭の免許状の取得を希望する場合は、必ず学務課に相談すること。
- 教職実践演習は、卒業前に、取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された科目である。そのため、4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され、演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位を修得しないと教員免許状の取得はできないため、掲示等の案内・指示に従い、履修には十分注意すること。

4. 幼稚園・小学校教諭一種免許状

(1) 【幼稚園】領域及び保育内容の指導法に関する科目

下記科目を全て履修し、19単位を必ず修得すること。

科目区分等		授業科目	単位数	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的 事項	健康	子どもと健康	1
		人間関係	子どもと人間関係	1
		環境	子どもと環境	1
		言葉	子どもと言葉	1
		表現	子どもと表現	1
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容指導法 (健康)	2	✿
		保育内容指導法 (人間関係)	2	
		保育内容指導法 (環境)	2	
		保育内容指導法 (言葉)	2	
		保育内容指導法 (表現Ⅰ)	2	✿
		保育内容指導法 (表現Ⅱ)	2	✿
		保育内容総論 (子どもと遊び) (1)	1	
	保育内容総論 (子どもと遊び) (2)	1		
合 計			19	

注) 「保育内容の指導法」の単位のうち、✿のついている科目については、下記のとおり小学校教諭一種免許状の授与を受ける場合の「教科の指導法」の単位を充てることが出来ます。但し、小学校教諭一種免許状を取得した場合（取得見込含む）に限ります。

初等科教育法 (音楽)	→	保育内容指導法 (表現Ⅱ)
初等科教育法 (図画工作)	→	保育内容指導法 (表現Ⅰ)
初等科教育法 (体育)	→	保育内容指導法 (健康)

(2) 【小学校】教科及び教科の指導法に関する科目

科目区分等		授業科目	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項※1	国語（書写を含む。）	国語科教育論	1
		社会	社会科教育論	1
		算数	算数科教育論	1
		理科	理科教育論	1
		体育	体育実技	1
		外国語	外国語科教育論	1
	各教科の指導法※2 （情報機器及び教材 の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	初等科教育法（国語）	2
		社会	初等科教育法（社会）	2
		算数	初等科教育法（算数）	2
		理科	初等科教育法（理科）	2
		生活	初等科教育法（生活）	2
		音楽	初等科教育法（音楽）	2
		図画工作	初等科教育法（図画工作）	2
		家庭	初等科教育法（家庭）	2
		体育	初等科教育法（体育）	2
		外国語	初等科教育法（外国語）	2

※1 教科に関する専門的事項は、一部または全部を中学校の教員免許状を取得するために必要な科目を充当し、計10単位を履修することになっている。各学科等において、教科に関する専門的事項に関する科目の履修方法が指定されている。次頁の表を参照すること。

※2 各教科の指導法はこの表に記載されているものをすべて履修する。

(3) 【幼稚園・小学校】大学が独自に設定する科目

◎文教育学部人間社会科学科教育科学・子ども学コース

以下の科目が該当します。

- ・「学校インターンシップ」（1単位）※小学校の教員免許状取得希望者は必修
- ・「子どもの日本語教育学概論」（2単位）

次の4科目は、幼稚園の教員免許状取得のための「大学が独自に設定する科目」にのみ該当

- ・「子ども学総論」（2単位）、「子ども学フィールドワーク」（2単位）、「子ども学インターンシップⅠ」（1単位）、「子ども学インターンシップⅡ」（1単位）

注）上記の他に、P. 3に記載された法令が定めている単位数を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目／教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」も、大学が独自に設定する科目の単位として計上することができます。

*「教科に関する専門的事項」の履修について

	前頁「教科に関する専門的事項」科目からの履修指定	備考（充当される単位数と科目名）
人文科学科	社会科学教育論は必ず履修、残りの5科目から3科目を選択	6単位（日本史概説、西洋史概説、自然地理学）
言語文化学科	6科目から2科目を選択	8単位（英文法Ⅰ(1)(2)、英文法Ⅱ、英作文演習（初級）、英会話演習（初級））
人間社会科学科		
教育科学・子ども学コース	全科目を履修	4単位（社会学総論、政治学総論Ⅰ）※
社会学コース	履修しなくて可	10単位（法学総論Ⅰ、政治学総論Ⅰ、社会学総論、経済学総論Ⅰ、哲学総論）
芸術・表現行動学科		
舞踊教育学コース	国語・社会・算数・理科教育論を履修	6単位（体育原理、舞踊芸術学、学校保健）
音楽表現コース	6科目から2科目を選択	8単位（音楽基礎、ピアノ基礎）
数学科	履修しなくて可	10単位（初等代数学、集合論1、集合論2、線形代数5、微分積分学3、微分積分学4）
物理学科	6科目から2科目を選択	8単位（古典力学(1)(2)、化学概論A、生物学概論A、宇宙・地球科学）
化学科	履修しなくて可	10単位（物理学概論A、物理学概論B、生物学概論A、生物学概論B、地球環境科学）
生物学科	履修しなくて可	10単位（化学概論A、化学概論B、物理学概論A、物理学概論B、地史・古生物学概論）
人間生活学科	履修しなくて可	10単位（家政経済学概論、被服学概論、食物学概論、住居学概論、児童学概論）

注)右の欄の科目はすべて中学校の教員免許状を取得するために履修することになっている。

※教育科学・子ども学コースの学生が小学校の教員免許状を取得する場合は、中学校の教員免許状の取得有無にかかわらず「社会学総論」「政治学総論Ⅰ」を必ず履修すること。

5. 中学校・高等学校教諭一種免許状

(1) 教科の指導法に関する科目

以下の科目が該当します。教科毎にⅠⅡⅢⅣ（各2単位）の4科目8単位を3年次終了までに修得していなければ、教育実習（事前・事後指導を含む）を履修できないので、注意すること。なお、高等学校の地理歴史は「中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）」と「中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）」、公民は「中等社会科教育法Ⅱ（公民）」と「中等社会科教育法Ⅳ（公民）」修得（4単位）が、教育実習履修要件となります。

教 科	修得すべき科目（必修8単位）
社 会	中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）* ¹ 、中等社会科教育法Ⅱ（公民）、中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）、中等社会科教育法Ⅳ（公民）
地 理 歴 史	中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）* ¹ 、中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）
公 民	中等社会科教育法Ⅱ（公民）、中等社会科教育法Ⅳ（公民）
国 語	国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、国語科教育法Ⅲ、国語科教育法Ⅳ
英 語	英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ
保 健 体 育	保健体育科教育法Ⅰ、保健体育科教育法Ⅱ、保健体育科教育法Ⅲ、保健体育科教育法Ⅳ
音 楽	音楽科教育法Ⅰ、音楽科教育法Ⅱ、音楽科教育法Ⅲ、音楽科教育法Ⅳ
数 学	数学科教育法Ⅰ、数学科教育法Ⅱ、数学科教育法Ⅲ、数学科教育法Ⅳ
理 科	理科教育法Ⅰ、理科教育法Ⅱ、理科教育法Ⅲ、理科教育法Ⅳ
情 報	情報科教育法Ⅰ* ² 、情報科教育法Ⅱ* ² ※情報のみ、上記2科目4単位を必修とする。
家 庭	家庭科教育法Ⅰ、家庭科教育法Ⅱ、家庭科教育法Ⅲ、家庭科教育法Ⅳ

* 1 中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）のみ、2年次後期に修得すること。

* 2 情報科教育法は、ⅠとⅡを隔年で交互に開講するので、2年次と3年次に修得すること。

(2) 大学が独自に設定する科目

以下の科目が該当します。

- ・「学校インターンシップ」（1単位）
- ・「道德教育の理論と方法」（2単位）※但し、高等学校の教員免許状取得希望者のみ該当
- ・「子どもの日本語教育学概論」（2単位）

注) 上記の他に、P. 3に記載された法令が定めている単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」も、大学が独自に設定する科目の単位として計上することができます。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校教諭一種免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

人文科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
日本史・外国史	◎日本史概説 (2)	◎アジア史概説 (2)
	◎日本文化史概論 (2)	◎西洋史概説 (2)
	日本古代中世政治史 (2)	西アジア史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	日本近世近代政治史 (2)	東アジア史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	日本古代中世文化史 (2)	フランス史 (2)
	日本近世近代文化史 (2)	イギリス史 (2)
	日本古代史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	歴史学文献講読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (各2)
	日本古代史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	西洋社会史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	日本中世史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	西洋政治史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	日本中世史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	西洋社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	日本近世史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	グローバル・ヒストリー (2)
	日本近世史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	美術史学演習ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2)
	日本近代史演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	形象分析学演習ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2)
	日本近代史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	美術史学特殊講義ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2)
古文書学 (2)	形象分析学特殊講義ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2)	
歴史史料学 (2)		
地理学 (地誌を含む。)	◎人間と空間 (2)	
	◎自然地理学 (2)	
	◎地誌学 (2)	
	地図学 (2)	環境地理学演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	社会地理学 (2)	地域分析学演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	自然と人間 (2)	社会地理学演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	測量学 (2)	自然地理学演習Ⅰ (2)
	地理学分析基礎演習Ⅰ・Ⅱ (各2)	都市地理学演習Ⅰ・Ⅱ (各2)
	地理学フィールドワーク (2)	福祉の地理学 (2)
	自然地理学フィールドワーク (2)	
人文地理学フィールドワーク (2)		
「法学、政治学」	法学総論Ⅰ・Ⅱ (各2)	いずれかの総論を選択(選択した総論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること)
	政治学総論Ⅰ・Ⅱ (各2)	
「社会学、経済学」	社会学通論Ⅰ・Ⅱ (各2)	いずれかを選択(選択した通論または総論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること)
	経済学総論Ⅰ・Ⅱ (各2)	
	経済地理学 (2)	都市地理学 (2)
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論Ⅰ・Ⅱ (各2)	いずれかの概論を選択(選択した概論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること)
	倫理学概論Ⅰ・Ⅱ (各2)	
	哲学演習BⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ (各2)	
	倫理学演習A (4)	倫理思想史演習A (4)

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	高等学校教諭一種免許状	免許教科	地理歴史
--------	-------------	------	------

人文科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位
教科に関する専門的事項	
日本史	◎日本史概説 (2) ◎日本文化史概論 (2) ----- 日本古代中世政治史 (2) 日本近世近代政治史 (2) 日本古代中世文化史 (2) 日本近世近代文化史 (2) 日本古代史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本古代史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本中世史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本中世史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本近世史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本近世史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本近代史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本近代史料演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 古文書学 (2) 歴史史料学 (2) 形象分析学演習ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2) 形象分析学特殊講義ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2)
外国史	◎アジア史概説 (2) ◎西洋史概説 (2) ----- 西アジア史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 東アジア史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) フランス史 (2) イギリス史 (2) 歴史学文献講読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (各2) 西洋社会史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 西洋政治史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 西洋社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ (各2) グローバル・ヒストリー (2) 美術史学演習ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2) 美術史学特殊講義ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB (各2)
人文地理学・ 自然地理学	◎人間と空間 (2) ◎自然地理学 (2) ----- 地図学 (2) 社会地理学 (2) 自然と人間 (2) 測量学 (2) 地理学分析基礎演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 地理学フィールドワーク (2) 自然地理学フィールドワーク (2) 人文地理学フィールドワーク (2) 環境地理学演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 地域分析学演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 社会地理学演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 自然地理学演習Ⅰ (2) 都市地理学演習Ⅰ・Ⅱ (各2) 福祉の地理学 (2)
地誌	◎地誌学 (2)

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	高等学校教諭一種免許状	免許教科	公民
--------	-------------	------	----

人 文 科 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
「法律学 (国際法を含む。)、 政治学 (国際政治を含む。)」	◎法学総論Ⅰ (2) ◎政治学総論Ⅰ (2) ◎法学総論Ⅱ (2) ◎政治学総論Ⅱ (2)	} 人間社会科学科開設科目
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	◎社会学通論Ⅰ (2)	
	◎経済学総論Ⅰ (2)	
	◎社会学通論Ⅱ (2)	
	◎経済学総論Ⅱ (2)	

	経済地理学 (2)	
	都市地理学 (2)	
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	◎哲学概論Ⅰ (2)	
	◎倫理学概論Ⅰ (2)	
	◎哲学概論Ⅱ (2)	
	◎倫理学概論Ⅱ (2)	

	哲学演習BⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ (各2)	
	倫理学演習A (4)	
	倫理思想史演習A (4)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	国語
--------	-----------------	------	----

言語文化学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	◎日本語学通論 (2)	
	◎日本語音声表現論 (2)	
	◎日本語語彙論 (2)	
	◎日本語文法総論 (2)	
	日本語文章表現論 (2)	
	日本語史特殊研究 (2)	
	日本語学演習 (日本語史) I (2)	
	日本語学演習 (日本語史) II (2)	
国文学 (国文学史を含む。)	◎日本文学概説 (2)	
	日本古典文学史論 (中古) (2)	〔中古、中世、近世の中から2科目以上選択すること〕
	日本古典文学史論 (中世) (2)	
	日本古典文学史論 (近世) (2)	
	日本近代文学史論 (近代) (2)	〔近代、現代の中から1科目以上選択すること〕
	日本近代文学史論 (現代) (2)	
	日本古典文学論特殊研究 (中古) (2)	
	日本古典文学論特殊研究 (中世) (2)	
	日本古典文学論特殊研究 (近世) (2)	
	日本近代文学論特殊研究 (近代) (2)	
	日本近代文学論特殊研究 (現代) (2)	
	日本古典文学論特殊講義 I・III (各2)	
	日本近代文学論特殊講義 I (2)	
	日本文学論講読 I・III・IV (各2)	
	日本古典文学論演習 A I・II (各2)	
	日本古典文学論演習 B I・II (各2)	
日本古典文学論演習 C I・II (各2)		
日本近代文学論演習 A I・II (各2)		
日本近代文学論演習 B I・II (各2)		
漢文学	◎中国古典文学史 (先秦～唐) (2)	
	◎中国古典文学史 (宋～清) (2)	
	中国古典文献講読入門 (2)	いずれか1科目以上選択
	中国古典文献講読基礎 (2)	
中国文学古典演習 (2)		
(中) 書道 (書写を中心とする。)	◎書道 I (2)	
	◎書道 II (2)	
※高等学校教諭免許では、所要単位に含まれない		

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	英語
--------	-----------------	------	----

言語文化学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
英語学	◎英文法Ⅰ(1)(2) (各1) ◎英文法Ⅱ (2) ◎英語学入門(1)(2) (各1) ◎英語音声学演習 (2)	

	英文法演習 (2) 英語学概論 (2) 英語学特殊講義Ⅰ～Ⅷ (各2)	
英語文学	英文学史Ⅰ(1)(2) (各1) 英文学史Ⅱ (2) 米文学史Ⅰ(1)(2) (各1) 米文学史Ⅱ (2)	} 「英文学史Ⅰ(1)(2)」、「英文学史Ⅱ」、「米文学史Ⅰ(1)(2)」、「米文学史Ⅱ」のうちから3科目6単位以上を選択必修

	英米文学演習(初級) (2) 英米文学演習(中級) (2) 英文学特殊講義Ⅰ～Ⅷ (各2)	
英語 コミュニケーション	◎英作文演習(初級) (2) ◎英会話演習(初級) (2) 英作文演習(中級) (2) 英会話演習(中級) (2)	} いずれか1科目以上選択

	英作文演習(上級) (2) 英会話演習(上級) (2) 対照表現学演習Ⅰ(1)(2) (各1)	
異文化理解	◎英語圏事情(1)(2) (各1)	

	英語圏言語文化研究Ⅰ (2)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校教諭一種免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

人間社会科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
日本史・外国史	◎日本史概説	(2)
	◎日本文化史概論	(2)
	◎アジア史概説	(2)
	◎西洋史概説	(2)
	教育史演習Ⅰ	(2)
	教育史演習Ⅱ	(2)
地理学 (地誌を含む。)	◎人間と空間	(2)
	◎自然地理学	(2)
	◎地誌学	(2)
「法学、政治学」	◎法学総論Ⅰ	(2)
	◎法学総論Ⅱ	(2)
	◎政治学総論Ⅰ	(2)
	◎政治学総論Ⅱ	(2)
	教育制度演習Ⅰ	(2)
	教育制度演習Ⅱ	(2)
「社会学、経済学」	◎社会学総論	(2)
	◎経済学総論Ⅰ	(2)
	◎経済学総論Ⅱ	(2)
	教育社会学演習Ⅰ	(2)
	教育社会学演習Ⅱ	(2)
	社会政策論Ⅰ	(2)
	現代社会論	(2)
	社会意識論	(2)
	文化人類学概論(1)(2)	(各1)
	子ども社会学演習Ⅰ	(2)
子ども社会学演習Ⅱ	(2)	
「哲学、倫理学、 宗教学」	◎哲学総論	(2)
	◎倫理学総論	(2)
	教育思想演習Ⅰ	(2)
	教育思想演習Ⅱ	(2)
	教育人間学演習Ⅰ	(2)
	教育人間学演習Ⅱ	(2)

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	高等学校教諭一種免許状	免許教科	公民
--------	-------------	------	----

人間社会科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
「法律学 (国際法を含む。)、 政治学 (国際政治を含む。)」	◎法学総論Ⅰ	(2)
	◎法学総論Ⅱ	(2)
	◎政治学総論Ⅰ	(2)
	◎政治学総論Ⅱ	(2)

	教育制度演習Ⅰ	(2)
教育制度演習Ⅱ	(2)	
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	◎社会学総論	(2)
	◎経済学総論Ⅰ	(2)
	◎経済学総論Ⅱ	(2)

	教育社会学演習Ⅰ	(2)
	教育社会学演習Ⅱ	(2)
	社会政策論Ⅰ	(2)
	現代社会論	(2)
	社会意識論	(2)
	文化人類学概論(1)(2)	(各1)
子ども社会学演習Ⅰ	(2)	
子ども社会学演習Ⅱ	(2)	
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	◎哲学総論	(2)
	◎倫理学総論	(2)

	教育思想演習Ⅰ	(2)
	教育思想演習Ⅱ	(2)
	教育人間学演習Ⅰ	(2)
教育人間学演習Ⅱ	(2)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	保健体育
--------	-----------------	------	------

芸術・表現行動学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
体育実技	◎器械運動 (1)	
	◎球技 (1)	
	◎体づくり運動・武道 (1)	
	◎水泳実習 (1)	
	◎舞踊教育法実習 (中等教育) (1)	
	◎モダンダンス・テクニク (初級) (1)	
	◎舞踊創作法実習 (即興創作) (1)	
	◎舞踊創作法実習 (舞踊構成法) (1)	
	◎民族舞踊実習 (基礎) (1)	
	◎陸上競技 (1)	

	舞踊創作法実習 (舞踊上演・制作) (2)	
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学 (運動方法学を含む。)	◎体育原理 (2)	
	◎舞踊芸術学 (2)	
	◎民族舞踊学(1)(2) (各1)	
	◎臨床舞踊論 (2)	
	◎運動学 (運動方法学を含む) (2)	

	体育心理学 (2)	
	スポーツ文化論演習(1)(2) (各1)	
生理学 (運動生理学を含む。)	◎生理学 (運動生理学を含む) (2)	
	◎動作学(1)(2) (各1)	

	解剖学 (2)	
	病理学 (2)	
	動作学実験演習(1)(2) (各1)	
衛生学・公衆衛生学	◎衛生学及び公衆衛生学 (2)	
学校保健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	◎学校保健 (2)	
	◎学校安全と救急看護 (2)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	音楽
--------	-----------------	------	----

芸術・表現行動学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位			
教科に関する専門的事項				
ソルフェージュ	◎ソルフェージュ	(2)		
声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	◎声乐基礎	(4)		
	◎合唱演習Ⅰ	(2)		
	合唱演習Ⅱ	(2)		
	声乐発展AⅠ・AⅡ	(各2)		
	声乐発展BⅠ・BⅡ	(各2)		
	声乐発展CⅠ・CⅡ	(各2)		
	副科声乐A	(2)		
	副科声乐B	(2)		
	副科声乐C	(2)		
	オペラ研究AⅠ	(2)		
	オペラ研究AⅡ	(2)		
オペラ研究AⅢ	(2)			
器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	◎合奏演習	(2)		
	◎ピアノ基礎	(4)		
	◎日本音楽演奏法	(2)		
	ピアノⅠ	(4)		
	ピアノⅡA・ⅡB	(各2)		
	ピアノⅢA・ⅢB	(各2)		
	ピアノⅣA・ⅣB	(各2)		
	副科ピアノA	(2)		
	副科ピアノB	(2)		
	副科ピアノC	(2)		
	ピアノ特別演習AⅠ	(2)	ピアノ特別演習BⅡ	(2)
ピアノ研究演習AⅠ	(2)	ピアノ研究演習AⅡ	(2)	
ピアノ研究演習BⅠ	(2)	ピアノ研究演習BⅡ	(2)	
指揮法	◎指揮法	(2)		
音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	◎作曲原論Ⅰ	(2)	◎音楽学研究法	(2)
	◎作曲原論Ⅱ	(2)	◎西洋音楽史Ⅱ	(2)
	◎西洋音楽史Ⅰ	(2)	◎民族音楽学	(2)
	◎日本音楽史概論	(2)	◎音楽形式論	(2)
	西洋音楽史特殊講義Ⅰ	(2)		
	音楽学研究演習Ⅰ	(2)	音楽研究演習Ⅱ	(2)

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 理学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	数学
--------	-----------------	------	----

数 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
代数学	◎初等代数学 (2) ◎集合論1 (1) ◎集合論2 (1) ◎群論1 (2) ◎群論2 (2)	
幾何学	◎線形代数学5 (2) ◎線形代数学6 (2) ◎位相空間論1 (2) ◎位相空間論2 (2) ◎ベクトル解析 (2)	
解析学	◎微分積分学3 (2) ◎微分積分学4 (2) ◎微分積分学5 (2) ◎微分積分学6 (2) ◎数理解析序論 (2)	
「確率論、統計学」	◎確率序論 (2) (情報科学科開設科目)	
コンピュータ	コンピュータシステム序論 (2) (情報科学科開設科目) 計算量理論 (2) (情報科学科開設科目)	いずれか1科目以上選択

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 理 学 部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	理科
--------	-----------------	------	----

物 理 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
物理学	◎古典力学Ⅰ(1)(2) (各1) ◎量子力学Ⅰ(1)(2) (各1) ◎量子力学Ⅱ(1)(2) (各1) ◎熱力学(1)(2) (各1) ◎電磁気学Ⅰ(1)(2) (各1) ◎電磁気学Ⅱ(1)(2) (各1) ◎物理数学Ⅰ(1)(2) (各1) ◎物理数学Ⅱ(1)(2) (各1) ----- 量子力学Ⅲ(1)(2) (各1) 統計力学(1)(2) (各1)	
化学	◎化学概論A (2) (生物学科開設科目) ◎化学概論B (2) (生物学科開設科目)	
生物学	◎生物学概論A (2) (化学科開設科目) ◎生物学概論B (2) (化学科開設科目)	
地学	◎宇宙・地球科学 (2)	
物理学実験・化学実験 ・生物学実験・地学実験	◎基礎物理学実験(1)(2) (各1) ※ ◎物理学実験(1)(2)(3)(4) (各1) ※	
	◎化学基礎実験 (2) (化学科開設科目) ◎生物学基礎実験 (2) (生物学科開設科目) ◎地学基礎実験 (2)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

実験の履修方法は以下のとおり、免許種により異なるため注意してください。

【中学校】 物理学、化学、生物学、地学の全ての実験を履修すること。

【高等学校】 物理学実験(※印が付いている全ての科目)を履修すること。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 理 学 部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	理科
--------	-----------------	------	----

化 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
物理学	◎物理学概論A (2) (物理学科開設科目)	
	◎物理学概論B (2) (物理学科開設科目)	
化学	◎物理化学Ⅰ (2)	
	◎物理化学Ⅱ (2)	
	◎物理化学Ⅲ (2)	
	◎物理化学Ⅳ (2)	
	◎無機化学Ⅰ (2)	
	◎無機化学Ⅱ (2)	
	◎無機化学Ⅲ (2)	
	◎有機化学Ⅰ (2)	
	◎有機化学Ⅱ (2)	
	◎有機化学Ⅲ (2)	
	◎生物化学Ⅰ(1)(2) (各1)	
	◎生物化学Ⅱ (2)	
	◎生体分子機能・反応学 (2)	
	◎分析化学Ⅰ (2)	
	◎分析化学Ⅱ (2)	
	◎分子分光法 (2)	
生物学	◎生物学概論A (2)	
	◎生物学概論B (2)	
地学	◎地球環境科学 (2)	
物理学実験・化学実験 ・生物学実験・地学実験	◎基本化学実験Ⅰ (2) ※	
	◎基本化学実験Ⅱ (2) ※	
	◎基本化学実験Ⅲ (2) ※	
	◎基本化学実験Ⅳ (2) ※	
	----- 専門化学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ (各2)	
	◎物理学基礎実験 (2) (物理学科開設科目)	
	◎生物学基礎実験 (2) (生物学科開設科目)	
	◎地学基礎実験 (2) (物理学科開設科目)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

実験の履修方法は以下のとおり、免許種により異なるため注意してください。

【中学校】 物理学、化学、生物学、地学の全ての実験を履修すること。

【高等学校】 化学実験(※印が付いている全ての科目)を履修すること。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 理 学 部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	理科
--------	-----------------	------	----

生 物 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位			
教科に関する専門的事項				
物理学	◎物理学概論A	(2)	(物理学科開設科目)	
	◎物理学概論B	(2)	(物理学科開設科目)	
化学	◎化学概論A	(2)		
	◎化学概論B	(2)		
生物学	◎生化学	(2)	◎動物環境応答学	(2)
	◎進化生物学	(2)	◎生態学	(2)
	◎生物系統学	(2)	◎遺伝子工学	(2)
	◎遺伝学	(2)	◎生物統計学	(2)
	◎分子細胞生物学	(2)	◎生物学演習Ⅰ	(2)
	◎植物環境応答学	(2)	◎生物学演習Ⅱ	(2)

	進化遺伝学	(2)	分子遺伝学	(2)
	発生生物学	(2)	藻類学	(2)
	分子構造生物学	(2)	植物機能制御学	(2)
	生物系統地理学	(2)	細胞動態学	(2)
	比較動物学	(2)	保全生物学	(2)
	生物物理学	(2)	動物生理学	(2)
	地学	◎地史・古生物学概論	(2)	
物理学実験・化学実験 ・生物学実験・地学実験	◎生物学実習ⅠA	(2) ※	◎生物学実習Ⅱ	(2) ※
	◎生物学実習ⅠB	(2) ※		

	動物系統学臨海実習	(1)	多様性生物学領域実習	(1)
	植物系統学臨海実習	(1)	生命情報プログラミング演習	(1)
	植物生態学実習	(1)	動物生理学実習	(1)
	分子細胞生物学領域実習	(1)	細胞生化学実習	(1)
	生命情報学領域実習	(1)		
	◎物理学基礎実験	(2)	(物理学科開設科目)	
	◎化学基礎実験	(2)	(化学科開設科目)	
◎地学基礎実験	(2)	(物理学科開設科目)		

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

実験の履修方法は以下のとおり、免許種により異なるため注意してください。

【中学校】 物理学、化学、生物学、地学の全ての実験を履修すること。

【高等学校】 生物学実験(※印が付いている全ての科目)を履修すること。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 理学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	数学
--------	-----------------	------	----

情報科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位
教科に関する専門的事項	
代数学	◎数 理 基 礎 論 (2)
	◎離 散 数 学 (2)
	位 相 空 間 論 (2)
	グ ラ フ 理 論 (2)
	暗 号 と 符 号 組 み 合 わ せ 論 (2)
幾何学	◎線 形 代 数 学 I (2)
	◎線形代数学演習 I (2)
	◎線 形 代 数 学 II (2)
	◎線形代数学演習 II (2)
解析学	◎微 分 積 分 学 I (2)
	◎微分積分学演習 I (2)
	◎微 分 積 分 学 II (2)
	◎微分積分学演習 II (2)
	情 報 解 析 学 (2)
「確率論、統計学」	◎確 率 序 論 (2)
コンピュータ	◎計 算 量 理 論 (2)
	コ ン プ ュ ー タ シ ス テ ム 序 論 (2)
	計 算 機 代 数 演 習 (2)

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 理 学 部

免許状の種類	高等学校教諭一種免許状	免許教科	情報
--------	-------------	------	----

情 報 科 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	◎情報倫理 (2)	◎情報と職業 (2)
コンピュータ・情報処理	◎データ構造とアルゴリズム (2)	
	◎マルチメディアプログラミング実習 (2)	
	◎環境情報論 (2)	

	コンピュータアーキテクチャⅠ (2)	
	コンピュータアーキテクチャⅡ (2)	
	コンパイラ構成論 (2)	
	プログラミング実習 (2)	
	言語理論とオートマトン (2)	
	人工知能論 (2)	
	数値計算 (2)	
	数値計算演習 (2)	
	関数型言語 (2)	
	コンピュータ基礎演習 (2)	
アルゴリズムプログラミング実習 (2)		
情報システム	◎ソフトウェア工学 (2)	

	データベース設計論 (2)	
情報通信ネットワーク	◎コンピュータネットワークⅠ (2)	
	◎コンピュータネットワークⅡ (2)	

	情報理論 (2)	
マルチメディア表現・マルチメディア技術	◎マルチメディア (2)	
	◎コンピュータグラフィックス (2)	

	コンピュータビジョン (2)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

(3) 教科に関する専門的事項

◎ 生活科学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

人間生活学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
教科に関する専門的事項		
家庭経営学 (家族関係学及び 家庭経済学を含む。)	◎家族関係論 (2)	◎家政経済学概論 (2)
	生活経営学 (2)	労働経済学総論 (2)
	消費者経済学 (2)	生活法学 (2)
	家族社会学(1)(2) (各1)	生活政治学(1)(2) (各1)
	家族法 (2)	消費者科学入門 (2)
	消費者教育論 (2)	消費者法 (2)
被服学 (被服実習を含む。)	◎被服学概論 (2)	} いずれか1科目以上選択
	服飾制作実習 (1)	
	被服製作実習 (1)	
	服飾史 I (1)(2) (各1)	服飾文化論基礎演習 (2)
	服飾史論(1)(2) (各1)	服飾文化論演習 (2)
	服飾史 II (1)(2) (各1)	服飾文化実習 (1)
	服飾史資料論(1)(2) (各1)	日本服飾史基礎演習 (2) 日本服飾史演習 (2)
食物学 (栄養学、食品学及び 調理実習を含む。)	◎食物学概論 (2) (学部共通科目)	
	◎調理実習 (1)	
	国際栄養学 (2) (学部共通科目)	
住居学	◎住居学概論 (2)	◎建築環境計画論 (2)
	建築環境工学 (2)	機器分析演習 (2)
	環境衛生学 (2)	生活材料物性 (2)
保育学	◎児童学概論 (2)	◎保育実践論 (2)
	児童文化論 (2)	保育デザイン論(1)(2) (各1)
	発達と文化(1)(2) (各1)	

◎は本学の教職必修科目

免許状取得のためには、P. 5の教育の基礎的理解に関する科目等、P. 9の教科の指導法に関する科目と上記◎必修科目の他、必要に応じて「教科に関する専門的事項」の選択科目等も履修し、合計で59単位以上修得する必要があります。

6. 栄養教諭一種免許状

生活科学部食物栄養学科に所属する学生は、栄養教諭一種免許状を取得することができます。

本学では、教育の基礎的理解に関する科目等については以下の通り、栄養に係る教育に関する科目については4単位全てを修得する必要があります。(P. 4 教科・教職以外の科目も履修してください。)

教育の基礎的理解に関する科目等

科目区分	左記各科目に含めることが必要な事項	認定科目・単位
教育の基礎的理解に関する科目 (11単位以上)	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	A: 教育思想概論(1)(2)各①および教育史概論(1)(2)各① B: 教育原論(思想・歴史)(1)(2)各①
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(1)(2)各①
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	A: 教育社会学概論(1)(2)各①および教育制度概論② B: 教育原論(社会・制度)(1)(2)各①
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	A: 教育・発達心理学概論(1)(2)各① B: 教育心理②
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	A: 特別支援教育概論(1)(2)各① B: 特別支援教育の理論と方法①
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	A: 教育課程概論(1)(2)各① B: 教育課程論②
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (11単位以上)	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	道徳教育の理論と方法② ----- 総合的な学習の時間の理論と方法① ----- 特別活動の理論と方法②
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	A: 教育方法学概論(1)(2)各① B: 教育方法論① ----- ICT活用の理論と方法①※
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導と進路指導の理論と方法②
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	学校カウンセリング②
教育実践に関する科目(4単位)	栄養教育実習	栄養教育実習②
	教職実践演習	教職実践演習(栄養教諭)②

1. AとBがある欄の科目は、そのいずれかを履修すること。○の中の数字は単位数を示している。
2. 「教育方法論」と「ICT活用の理論と方法」は施設の都合上同一教員の開講する科目を連続して履修することを基本とする。※「ICT活用の理論と方法」はABどちらを選択した場合にも履修が必要。

栄養に係る教育に関する科目(4単位)

各科目に含める必要事項	認定科目・単位
<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・ 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・ 食生活に関する歴史的及び文化的事項 	学校栄養教育論Ⅰ②
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食に関する指導の方法に関する事項 	学校栄養教育論Ⅱ②

Ⅲ. 介護等体験

平成10年4月より、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」が施行されました。これは、「教員が個人の尊厳および社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性と教員の資質向上および学校教育の一層の充実を図る」観点から設けられた、とされています。

これにより、小学校および中学校の教員免許状取得には、関係法令等で指定された特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、計7日間の介護等体験が義務付けられました。(幼稚園、高等学校、または栄養教諭の教員免許状のみ取得希望者は、対象外です。)

文部科学省によると、介護等体験の内容は、「障害者、高齢者等に対する介護、介助のほか障害者等の話相手、散歩の付添いなどの交流等の体験、あるいは掃除や洗濯といった、障害者等と直接接するわけではないが、受入施設の職員に必要とされる業務の補助など、介護等体験を行う者の知識・技能の程度、受入施設の種類、業務の内容、業務の状況等に応じ、幅広い体験が想定される」となっています。

本学では、3年次に介護等体験を行い、都内の特別支援学校および社会福祉施設へ派遣しています。詳細は2年次10月の介護等体験説明会でご案内します。

介護等体験実施にあたっては、主に下記の費用がかかります。全て学生個人の負担となりますので、ご注意ください。

- 学生賠償責任保険への加入手続費用
- 麻疹・風疹の抗体検査・予防接種費用
- 社会福祉施設での介護等体験費用（¥11,000程度）
- 腸内細菌検査費用
- 介護等体験中の昼食費・交通費・施設入場料等

IV. 教員免許状の授与

教員免許状は、取得要件を満たした学生が、居住する都道府県の教育委員会に申請することで授与されます。

しかし、本学の所在する東京都では、免許状を申請する学生数が特段に多いので、所属する大学で申請希望者をまとめて教育委員会に申請する、大学一括申請を行っております。

教職課程履修学生は、4年次4月に卒業単位確認とともに、免許状の単位の修得漏れが無いようによく確認しておいてください。

1. 大学一括申請

4年次7月ごろに1回目の手続を行います。この時に、免許状に表記する氏名の漢字、本籍地を確認するため、学務システムでの登録と書類提出が必要です。時期になりましたら、OchaMail、学生ポータルサイト、掲示でご案内します。

次に11～12月ごろに、2回目の申請手続を行います。この時は、宣誓書の署名、申請手数料（免許状申請件数に応じて¥3,300～¥9,900程度。）の振込が必要です。

以上2回の手続を漏れなく行い、取得要件を満たした場合は、卒業式当日に教員免許状をお渡しできます。

なお、手続方法や申請手数料等は、東京都教育委員会の方針変更で改定になる可能性があります。変更した場合は学内掲示等で連絡します。

2. 個人申請

4年次に一括申請の手続を行わなかった方は、卒業後に個人で教育委員会に申請することになります。卒業時に必要な単位を漏れなく修得していれば、卒業後いつでも申請できます。しかし、申請から授与までは1か月以上かかることが多く、特に2月～3月は、申請が集中する時期ですので、4月からの採用に支障が生じることもあります。ですから、教職課程履修学生は、なるべく在学中に一括申請で免許状を取得するようにしてください。

なお、個人申請の場合には、居住する都道府県の教育委員会に申請することになりますが、都道府県ごとに手続の仕方が異なりますので、都道府県庁の担当部局に問い合わせ確認してください。

また、教員免許状は一度授与されると罹災、盗難以外では二度と再発行されません。一括申請でも個人申請でも同じです。あやまって紛失することの無いように厳重に保管してください。特に転居時に紛失する例が多いようですので、ご注意ください。

V. 教職課程履修スケジュール

下の表は、4年間のおおまかなスケジュールです。この表は予定ですので、法令の改正や学内の都合等で変更になる可能性があります。

なお、教職課程に関する連絡は、全て学生ポータルサイト及び学内掲示板に掲示します。必ず定期的に学生ポータルサイトを確認し、手続き等に漏れが無いようにご注意ください。

学年	時期	事 項
1 年 次	4月	● 新入生オリエンテーション
		● (教職に関する科目を履修)
2 年 次	6月	● 教育実習申込
	10月	● 教職課程説明会
		▲ 介護等体験説明会
	2月	▲ 介護等体験事前指導
▲ 介護等体験申込手続		
3 年 次	4月	▲■ 健康診断受診
		■ 第1回 教育実習大学側事前指導 (教育実習配属先決定)
	6月～	▲ 介護等体験実施 (特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間)
	9月	■ 出身学校教育実習内諾締切
	10月	■ 第2回 教育実習大学側事前指導 (中・高) (幼・小・栄)
	11月	■ 附属学校教育実習履修届提出
	1月	■ 附属幼稚園教育実習事前指導
		■ 附属小学校教育実習事前指導
2月	▲ 介護等体験事後指導	
4 年 次	4月	■ 健康診断受診
		■ 第3回 教育実習大学側事前指導 (中・高) (幼・小・栄)
	5月～	■ 附属小学校教育実習 (4週間) および事後指導
		■ (中・高) 教育実習事前指導
		■ 附属中Ⅰ期教育実習 (3週間) および事後指導
		■ 附属幼稚園Ⅰ期教育実習 (2週間) および事後指導
	7月	■ 附属高Ⅰ期教育実習 (2または3週間) および事後指導
		★ 教員免許状一括申請申込
	9月	■ 附属中・高Ⅱ期教育実習 (3週間) および事後指導 栄養教育実習 (事前参観1週間、本実習1週間および事後指導)
		■ 附属幼稚園Ⅱ期教育実習 (2週間) および事後指導
	10月	■ 教育実習報告指導会 (全体事後指導) ※栄養教諭除く
	後期	■ 教職実践演習履修
	11・12月	★ 教員免許状一括申請手続
3月	★ 卒業式当日に教員免許状配付	

《凡例》 ●:教職課程全般に関すること
 ▲:介護等体験に関すること
 ■:教育実習に関すること
 ★:教員免許状一括申請に関すること

* 教育の基礎的理解に関する科目等チェック表

P. 5表「3. 教育の基礎的理解に関する科目等」の履修確認にご活用ください。

幼稚園教諭一種免許状

※履修方法についてはP. 5表の注をよく確認してください。

教育の基礎的理解に関する科目等		授業科目	単位数	修得済単位数	
科目区分	各科目に含める必要事項				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	幼児教育学原論(1)	1		
		幼児教育学原論(2)	1		
		または			
		教育思想概論(1)	1		
		教育思想概論(2)	1		
		教育史概論(1)	1		
		教育史概論(2)	1		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論(1)	1	
			教職概論(2)	1	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	子ども社会学概論(1)	1	
	子ども社会学概論(2)		1		
	幼児教育制度概論(1)		1		
	幼児教育制度概論(2)		1		
	または				
	教育社会学概論(1)		1		
	教育社会学概論(2)		1		
	教育制度概論		2		
	または				
	教育原論(社会・制度)(1)		1		
	教育原論(社会・制度)(2)	1			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育・発達心理学概論(1)	1		
		教育・発達心理学概論(2)	1		
		または			
	教育心理	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論(1)	1		
		特別支援教育概論(2)	1		
		または			
	特別支援教育の理論と方法	1			
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	幼児教育課程概論(1)	1			
	幼児教育課程概論(2)	1			
	または				
	教育課程概論(1)	1			
	教育課程概論(2)	1			
	または				
教育課程論	2				
道徳、総合的な学習及び生徒指導等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	幼児教育方法学概論(1)	1		
		幼児教育方法学概論(2)	1		
	幼児理解の理論及び方法	幼児理解と教育相談	2		
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
に教科関与する実践	教育実習	教育実習（幼小）	4		
		事前・事後指導（幼小）	1		
	教職実践演習	教職実践演習	2		
取得単位合計					

小学校教諭一種免許状

※履修方法についてはP. 5表の注をよく確認してください。

教育の基礎的理解に関する科目等				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得済単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育思想概論(1)	1	
		教育思想概論(2)	1	
		教育史概論(1)	1	
		教育史概論(2)	1	
		または		
		教育原論(思想・歴史)(1)	1	
		教育原論(思想・歴史)(2)	1	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(1)	1	
		教職概論(2)	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学概論(1)	1	
		教育社会学概論(2)	1	
		教育制度概論	2	
		または		
		教育原論(社会・制度)(1)	1	
	教育原論(社会・制度)(2)	1		
		教育・発達心理学概論(1)	1	
		教育・発達心理学概論(2)	1	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	または		
		教育心理	2	
		特別支援教育概論(1)	1	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論(2)	1	
		または		
		特別支援教育の理論と方法	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程概論(1)	1	
		教育課程概論(2)	1	
		または		
		教育課程論	2	
道徳、徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の理論と方法	1	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と方法	2	
	教育の方法及び技術	教育方法学概論(1)	1	
		教育方法学概論(2)	1	
	* P. 5表の注4を確認してください。	または		
	教育方法論	1		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用の理論と方法	1	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導と進路指導の理論と方法	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	学校カウンセリング	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(幼小)	4	
		事前・事後指導(幼小)	1	
		または		
		教育実習(小中)	4	
		事前・事後指導(小中)	1	
教職実践演習	教職実践演習	2		
取得単位合計				

中学校・高等学校教諭一種免許状

※履修方法についてはP. 5表の注をよく確認してください。

教育の基礎的理解に関する科目等		授業科目	単位数	修得済単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育思想概論(1)	1		
		教育思想概論(2)	1		
		教育史概論(1)	1		
		教育史概論(2)	1		
		または			
		教育原論(思想・歴史)(1)	1		
		教育原論(思想・歴史)(2)	1		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(1)	1	
			教職概論(2)	1	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学概論(1)	1	
	教育社会学概論(2)		1		
	教育制度概論		2		
	または				
	教育原論(社会・制度)(1)		1		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育原論(社会・制度)(2)	1		
		教育・発達心理学概論(1)	1		
		教育・発達心理学概論(2)	1		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	または			
		教育心理	2		
		特別支援教育概論(1)	1		
		特別支援教育概論(2)	1		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	または			
		特別支援教育の理論と方法	1		
		教育課程概論(1)	1		
教育課程概論(2)		1			
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	または				
	教育課程論	2			
	道徳の理論及び指導法(中学校のみ)	道徳教育の理論と方法	2		
	総合的な学習(高校：探究)の時間の指導法	総合的な学習の時間の理論と方法	1		
	特別活動の指導法	特別活動の理論と方法	2		
	教育の方法及び技術	教育方法学概論(1)	1		
		教育方法学概論(2)	1		
	* P. 5表の注4を確認してください。	または			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用の理論と方法	1		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導と進路指導の理論と方法	2		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	学校カウンセリング	2			
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小中)	4		
	教育実習	事前・事後指導(小中)	1		
		または			
	教育実習(中高)	1または2 または4			
	事前・事後指導(中高)	1			
教職実践演習	教職実践演習	2			
取得単位合計					

栄養教諭一種免許状

※履修方法についてはP. 26表の注をよく確認してください。

教育の基礎的理解に関する科目等		授業科目	単位数	修得済単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			
教育の基礎的理解に関する科目（11単位以上）	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育思想概論(1)	1	
		教育思想概論(2)	1	
		教育史概論(1)	1	
		教育史概論(2)	1	
		または		
		教育原論(思想・歴史)(1)	1	
	教育原論(思想・歴史)(2)	1		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(1)	1	
		教職概論(2)	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学概論(1)	1	
		教育社会学概論(2)	1	
		教育制度概論	2	
		または		
		教育原論(社会・制度)(1)	1	
		教育原論(社会・制度)(2)	1	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育・発達心理学概論(1)	1	
		教育・発達心理学概論(2)	1	
		または		
		教育心理	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論(1)	1	
		特別支援教育概論(2)	1	
		または		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	特別支援教育の理論と方法	1	
		教育課程概論(1)	1	
教育課程概論(2)		1		
	または			
	教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及び(11単位以上)	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	道徳教育の理論と方法	2	
		総合的な学習の時間の理論と方法	1	
		特別活動の理論と方法	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) * P. 26表の注2を確認してください。	教育方法学概論(1)	1	
		教育方法学概論(2)	1	
		または		
		教育方法論	1	
		ICT活用の理論と方法※	1	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導と進路指導の理論と方法	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	学校カウンセリング	2	
教育実践に関する科目(4単位)	教育実習	栄養教育実習	2	
	教職実践演習	教職実践演習(栄養教諭)	2	
		取得単位合計		

※必ず履修すること。

